

# 令和5年度大月市事業仕分け

B-5

時間 15:20~16:20

場所 L203講義室

事業名	教員住宅維持管理事業
担当課	学校教育課 学校づくり担当

## 事業の目的

○転任の多い教職員に対して、安定的かつ良好な居住先を提供する

## 活動の実績(令和4年度)

○入居者数(1人1室)…11人

## 成果と目標(令和4年度)

○入居者数(1人1室)…11人(目標15人)

## 課題・今後の方向性など

○遠方通勤が可能になったことや仮宿制度が廃止されたこと、市内や近隣の賃貸住宅が増えたことなどにより、空室が増えている状況

○条件付きでの家賃の減額や積極的なPRを行うなど、空室を減らすための対策を実施する

○入居対象者の拡充など、空き室の新たな活用方法も考えていく

<b>B-5</b>	<b>事業シート(概要説明書)</b>			令和5年度
<b>事業名</b>	<b>教員住宅維持管理事業</b>			
予算事業名(細々目)	教員住宅維持管理事業			
施策の大綱	豊かな心が育つまちづくり	事業開始年度	昭和46年	
施策体系	学校教育の充実	部 名	教育委員会	
施策項目	教職員体制、指導体制の充実	課 名	学校教育課	
根拠法令等	大月市教員宿舎管理規則	担当名	学校づくり担当	
事務区分	■自治事務 □法定受託事務	作成責任者	藤本 隆	

○事務事業の計画

実施の背景	教職員は県内広域での転任が多いため、転任に伴う居住先の確保が課題となっている。事業を開始した昭和40年代には、道路網の整備が十分ではなく通勤圏が限られていたこと、民間賃貸住宅が不足していたことや新規採用教員の仮宿制度があったことなどから、その解決策として、教員宿舎の整備を行った。			
目的 (何をどうしたいのか)	転任の多い教職員に対して、安定的かつ良好な居住先を提供する。			
対象 (誰・何を対象に)	市内小中学校に勤務する教職員。 ただし、空室がある場合は、大月短期大学に勤務する教職員、他市町村に勤務する小中学校教職員やその他教育長が認めるものについても入居できる。	対象者数(全住民に対する割合)		
		155	人	( - % )
実施方法	■直接実施			
	□業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者: )			
	□補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体: )			
事業概要	事業内容(箇条書き)		事業費	活動指標
	<p>◎入居者管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人事異動が発表になるタイミングで、入居者の募集や物件の内覧、入居説明会(抽選会)を実施する。また、退居者に対して退居に関する立ち合い等を実施する。</li> <li>・入居者に対して使用料納付書を発行するなど、事務処理を行う。</li> </ul> <p>◎施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給排水設備やエアコン、共用部分の電灯など、施設の維持管理を実施する。</li> </ul> <p>※施設概要</p> <p>【強瀬(こわぜ)教員宿舎】H9年度建築 鉄筋コンクリート造3階 単身用 全戸数15戸 駐車場各部屋1台無料 フローリング9畳 バス・トイレ・台所・エアコン完備 入居料月額20,000円</p>			
関連事業 (同一目的事業等)				

○事務事業の取組

コスト	事業費	事業費合計	令和5年度(予算)	令和4年度(決算)	令和3年度(決算)	令和2年度(決算)			
			768千円	502千円	582千円	1,436千円			
		事業費内訳 (令和4年度分)	支出内容		経費		支出内容	経費	
			需用費	光熱費、修繕料	293				
	役務費		浄化槽法定検査手数料、清掃業務手数料	158					
		委託料	浄化槽保守点検業務委託	22					
		備品購入費	消火器、火災報知器	30					
人件費	正職員	0.05人	345千円	0.05人	345千円	0.05人	321千円	0.05人	333千円
	臨時職員等	0人	0千円		0千円		0千円		0千円
	人件費合計	0.05人	345千円	0.05人	345千円	0.05人	321千円	0.05人	333千円
	総事業費		1,113千円		847千円		903千円		1,769千円

財源 内訳	国県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
	国県支出金の内容							
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
	その他特財	768千円	502千円	582千円	1,436千円			
	その他特財の内容 使用料							
	一般財源	345千円	345千円	321千円	333千円			
財源合計		1,113千円	847千円	903千円	1,769千円			
事業 実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度
		入居者数(1人1室)			人	11/15	13/15	14/15
	単位当たりコスト	総事業費	/	入居者数	千円	109	95	151

○事務事業の評価

事業 成果	成果目標 (指標設定理由等)	入居を希望する教職員に対して安定的かつ良好な居住先を提供し、空室ゼロを目指す。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度
		入居者数(1人1室)			人	11/15	13/15	14/15
	自己評価 課題 今後の方針 (事業の有効性、効率性、必要性の観点)	<p>遠方から転任する教職員については、人事異動の発表から短期間で新たな居住先を探さなければならないため、安定して居室を提供できる教員住宅は必要不可欠である。また、市単独で教員を採用する際に人材の確保が難しくなっているため、安価な住宅を用意できることは、採用条件でメリットになる。</p> <p>しかし、道路網の整備により遠方の自宅から通勤が可能になったことや、平成30年に新規採用教員の仮宿制度が廃止されたこと、市内や近隣の賃貸住宅が増えたことなどによって、空室が増えている状況である。</p> <p>そこで、条件付きでの家賃の減額や住宅に関する積極的なPRを行うなど、空室を減らすための対策を実施することや、入居対象者の拡充など、空き室の新たな活用方法も考えていかなければならない。さらに、入居者や入居を希望しなかった教職員にアンケートを実施するなどして、住宅に対するニーズを把握し、今後の課題でもある施設の改修への参考としていきたい。</p>						
	比較参考値 (類似事業例など)	<p>都留市教員住宅条例… 深田(ふかた)教員住宅(H2年建築) (単身)月額15,530円(世帯)月額20,380円 大幡(おおはた)教員住宅(H8年建築) 月額19,000円 ※深田については単身9部屋中8部屋、世帯6部屋中1部屋入居中。大幡については18部屋中10部屋入居中。</p> <p>上野原市教員住宅条例… 西原(さいはら)教職員住宅(S58年建築) 和見(わみ)教職員住宅(S60年建築) 上野原教職員住宅(H3年度建築) 桐原(ゆずりはら)教職員住宅(H4年度建築) ハツ沢教職員住宅(H11年度建築)月額17,000円 ※西原、和見、桐原については現在使用していない。上野原については自然学園の寮として全棟貸出。ハツ沢については、24部屋中11部屋入居中。</p>						
	特記事項							

# 強瀬教員宿舎

(単身用)



住 所

山梨県大月市賑岡町強瀬579-1

施設概要

平成9年建築 鉄筋コンクリート造3階建

全戸数15戸 駐車場各部屋1台無料

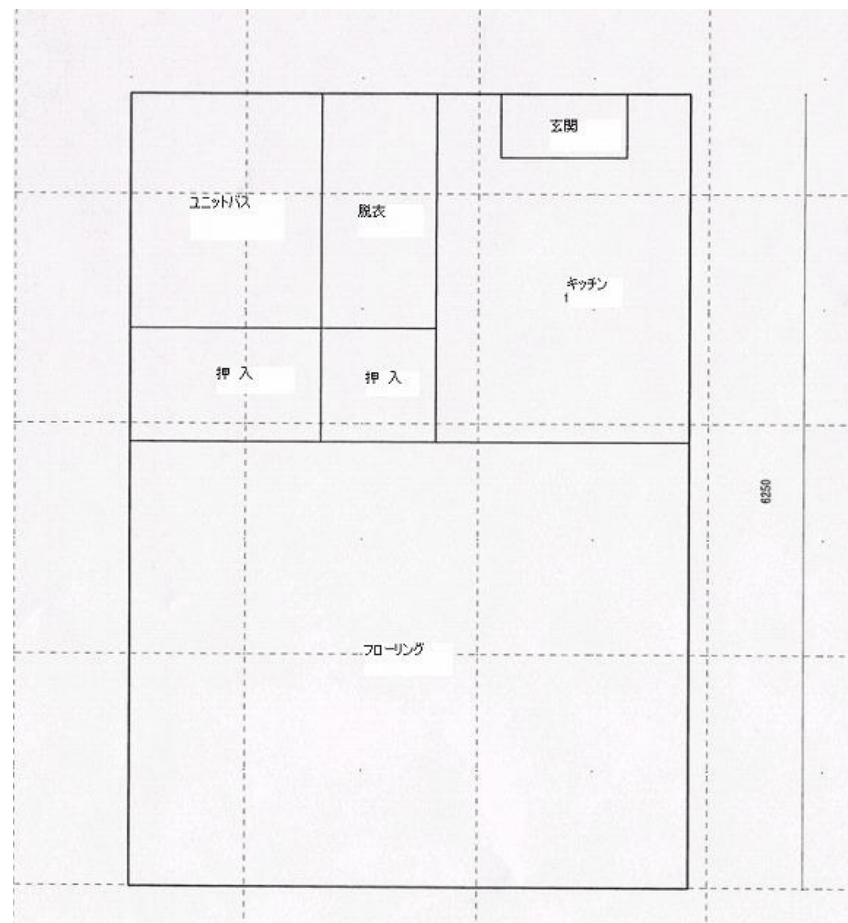
部屋概要

フローリング9畳 バストトイレ 台所 エアコン完備

月額使用料

20,000円

部屋間取



# 案内図

